

米軍基地由来のコロナ第6波は
県民の命とくらしを脅かし
経済発展を妨げる最大の阻害要因

コロナから 命とくらしを必ず守る!

今回のコロナ感染症拡大の問題は、米軍基地が原因の一つになっていると、指摘せざるを得ないと私は考えます。

政府は、玉城デニー知事が12月に基地の封鎖を申し入れているにもかかわらず、ようやく1月になって動き出しているという状況で、これは見過ごすことはできません。

私は、基地を抱えるここ名護市から、コロナ感染症の問題についても、はっきりと物を言うべきだと思います。そしてすぐに基地を封鎖して、感染症

拡大を止めていくべきだと考えています。

暮らしと命を守るために、そして経済をしっかりと守っていくためにも、言うべきことは言う必要があります。

私は、市民の皆さんと力を合わせてこのコロナ危機を乗り越え、誰もが安心して暮らせるまちづくりに、しっかりと取り組んで参ります。

命を守る一票をお寄せください。

2022年1月16日
名護市長候補者 岸本ようへい



あなたの声かけでニューリーダーを誕生させよう! 名護市長選挙の投票日は1月23日(日)です
期日前投票は17日(月)から22日(土)まで

市民のくらし あなたの笑顔 子どもの未来

コロナから
市民の命を

かならず
守る!



市独自のコロナ対策

- ・玉城デニー県政と連携しPCR検査を無料で実施
- ・保育・教育の現場に感染防止対策の専任スタッフを配置
- ・エッセンシャルワーカーのみなさんや、国の制度で支援が行き届かない家庭や事業者へ市独自の支援策を実施

基地に頼らず給食費・子ども医療費・保育料は無料化を実現させます

- ・子ども太陽基金を創設し幼児から大学生まで子育てをトータルサポート
- ・ひとり親世帯の支援拡充
- ・低所得世帯への支援拡充

名護市長選挙個人ビラ 頒布責任者：沖縄県名護市大西三丁目4番23号 山里将雄 印刷者：沖縄県南風原町字兼城577 沖縄高速印刷株式会社

自然破壊・SDGsに逆行する辺野古新基地は認めない！

復帰生まれの49歳 若さと情熱のニューリーダー！

きしもと

岸本
よ
う
へ
い

名護市長候補



命とくらしを守る一票を
岸本ようへいへ！



玉城デニー
沖縄県知事



前名護市長
稻嶺進

プロフィール

1972年12月生まれ。宇茂佐区出身。屋部小、屋部中(40期)で学び、名護高校(46期)ではラグビー部で花園出場。明星大学人文学部社会学科卒業。早稲田大学大学院公共経営研究科修了(専門職修士)。サミット事務局勤務後、(医)琉心会勝山病院総務課勤務(5年間)。2006年名護市議会議員。現在4期目。名護市国際交流協会副会長、名護市PTA連合会副会長、宇茂佐区行政委員。故・岸本建男元市長の長男。